

JSAF 外洋東海第 106 回理事会・第 58 回代議員会議事録

1.開催日時 2025 年 6 月 19 日（木）午後 7 時 00 分～9 時 00 分

2.開催場所 Zoom によるオンライン会議

3.出席理事及び代議員

<理事会>

（本人出席）

大島茂樹、坂谷定生、川合紀行、岩瀬喜貞、三浦信郎、林 泰成、水越英次
結城光広、中村 孝、

（委任状出席）

水谷節生、加藤利基、飯箸哲司

定足数 10 出席数 12（成立）

<代議員会>

（本人出席）

坂口龍哉、坂本欽吾、三浦桂子

（委任状出席）

安井 理、岡 吉樹、永井守久、大島和晃

定足数 5 出席数 7（成立）

（オブザーバー）

富川則之（監事）

4.議事内容

定刻になったので、大島会長議長となり理事会・代議員会の開会を宣す。

会長挨拶の後、議事録署名人として、川合紀行、坂口龍哉の両氏を指名後議事に入る。

1) 2024 年度事業報告及び収支決算について

会長命により坂谷専務理事から資料 1, 2, 3 に基づき説明があった。

資料 1 では本年度開催は 7 レースで、これまでやってきた五ヶ所湾合同レースに替えて、武豊-津合同レースを開催した点や各レースの参加艇数などについて、また年間を通じての各委員会の活動実績について説明があった。

資料 2 では本年度の収支状況についての説明があった。内容はおおむね次の通りであった。レース及び表彰等レース関連については、5,882,500 円の収入に対し 6,264,510 円の支出で 442,010 円の赤字。パールレース特別会計(資料：3)については、65 回大会が 1,014,165 円の赤字となったため、留保金は 766,950 円となっている。計測、安全、海事普及の事業では 255,000 円の収入に対し、833,661 円の支出で 598,661 円の赤字（年末パーティーでの支出が影響）となった。

会費等の収入は 1,107,350 円で、友の会からの 2,000,000 円の繰入金を含め、3,133,304 円収入に対し、支出は、事務局管理費をはじめとする会の運営関係費用は 2,558,859 円となった。昨年からの繰越金が 1,905,936 円あるので、総収入は 11,116,740 円、これに対し総支出は 9,657,030 円となり、次年度への繰越金は 1,459,710 円となった。

友の会資金については、次に資料4に示すように、本会計に2,000,000円支出したことにより、2025年3月末の残高は22,135,626円となっている。

以上説明があった後、会長命により6月4日実施の会計監査結果について富川監事から報告があった。

これを受けて大島会長から議案1, 2について、理事会に対し異議の有無を尋ねたところ、全員異議なく了承されたので、この議案を代議員会に上程し、審議を願った。

審議後、会長から代議員会に対し審査結果を諮ったところ、全員異議なく2024年度事業実績及び収支決算は承認された。

2) 2024年度における既実施レースの会計報告について

坂谷専務理事から資料6, 7, 8により、第32回三河湾周遊レース、第2回武豊・津合同レース、第39回エリカカップについての会計報告があった。

ア

3) JSAF 関係報告について

林JSAF評議員から6月14日開催の評議員会について報告があった。

東京在住なので本会場に行き、対面で参加した。2時間半程度の会議であったが、その内容は企業並みのまじめなものに感じた。執行部が強調していたのは、これまでは赤字決算が多かったが、今回は黒字となった。いろんな方面にスポンサードを働きかけ、結果多額の収入が得られた。また、今年はオリンピックで銀メダルを獲れたことが大きなステータスになっているとのことだった。

岩瀬理事からは同日開催の理事会についての報告もあった。

4) 委員会報告

・計測委員会

川合委員長からTRSについて計測し直してほしいという依頼が来ていたが、どう取り扱うかとの提案があり、協議したところ依頼のあった弥栄については、お金を取ってやるという方向となり、三浦委員長が一度データをチェックしてみるということになった。

・安全委員会

関東の大島レースにおいて、2艇のライフラインが破断し、1艇は4人、もう1艇は1人落水し、全員救助されたが、12ノットくらいで走っている時だったので、死人が出てもおかしくない事故だった。

大島会長からこのことを外洋東海のホームページに載せるようにとの指示があった。

・ルール委員会

大島委員長からB級ジャッジの更新はしているが、レース等での稼働が無いので、今後レースに参加して活動してもらいたいとの表明があった。

・海事普及委員会

クルーザーミーティングは8月3日にMCCが蒲郡マリンカップを開催するが、それに合わせ実施する。

- ・総務・財務委員会

今年は外洋東海のみの会員証を渡しましたが、外洋加盟団体は同様な会員証を発行しているので、パールレースのように参加条件がJSAF 会員の場合は、外洋加盟団体の会員証が最も信用できます。

皆様にはJSAF 番号として「SAL・・・・」という番号が全員についているので、一度新システムに入って確認してみてください。

- ・広報・IT 委員会

ホームページの改良と、エリカに向けても見やすいものにしたい。

5) 備品購入とその資金調達について

三浦様レース委員長から今後のレース運営を考えると、自走式のブイが有益で、スムーズな運営が期待できる。特に夜間フィニッシュには効果が発揮するのを確認している。また、若い子たちを運営に引き込むのにも魅力あるツールとして使えると考えているので、高価ではあるが是非導入してはとの提案があった。

これを受けて、複数理事の発言があったが、結論は出さず、常任委員会に一任ということに全員異議なく賛成した。

6) その他

長年会員であった鬼崎ヨットクラブの田中義夫氏から在籍証明がほしいとの要望があったので、証明したい旨坂谷専務から提案があり、特に異議なく承認された。

以上全議事終了したので、21 時大島会長閉会を宣す。

作成者 坂谷定生

議事録署名人 岩瀬喜貞
永井守久